東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所
2020年度　パフォーマンス向上会議情報（2020年11月19日（木）分）

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年11月19日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【地下水バイパス揚水井（No. 2）のサンドセパレータ出口側配管フランジ部の不具合について】 協力企業作業員が地下水バイパス揚水井（No. 2）のサンドセパレータの本格点検にて、サンドセパレータ出口側に接続する配管の下流側フランジ面の一部に腐食が発生していることを確認。 フランジシート面が確保されていること、液状ガスケット（※）を塗布し、復旧を行うことから手入れのみを実施し、経過観察とする。 地下水の汲み上げには他の地下水バイパス揚水井が運用中であり、影響なし。 ※　液状ガスケット：配管等内部からの漏れを防止するため、接合面に塗布するシール効果のある流動性のあるシール材	GⅢ	11月16日